

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公表番号】特表2010-526190(P2010-526190A)

【公表日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2010-030

【出願番号】特願2010-506819(P2010-506819)

【国際特許分類】

C 09 D 201/00 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 09 D 201/00

C 09 D 5/02

C 09 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

エステル(I)の酸成分として考えられる適当な脂肪酸の例は、例えば以下のとおりである：

デカン酸(カプリン酸)、ウンデカン酸、ドデカン酸(ラウリン酸)、トリデカン酸、テトラデカン酸(ミリスチン酸)、ペンタデカン酸、ヘキサデカン酸(パルミチン酸)、ヘプタデカン酸、およびオクタデカン酸(ステアリン酸)、イソステアリン酸、ノナデカン酸、エイコサン酸(アラキジン酸)、およびドコサン酸(ベヘン酸)。これらの脂肪酸は、飽和脂肪酸である。本発明において、それらは、エステル(I)の好ましい酸成分として使用される。

10-ウンデセン酸、ラウロレイン酸、ミリストレイン酸、パルミトレイン酸、ペトロセリン酸、オレイン酸、エライジン酸、ガドレイン酸、エルカ酸、およびプラシジン酸。これらの脂肪酸は、不飽和脂肪酸であり、C=C二重結合を含む。